

新潟大学 遺伝子倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	高異型度漿液性卵巣癌における細胞競合
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	対象者：2010 年～2024 年において、新潟大学医歯学総合病院で卵巣がんに対して手術を受けた方のうち、病理組織診断が高異型度漿液性がんの方。 過去の研究課題「婦人科悪性腫瘍の治療抵抗性メカニズムの解明を目的とした遺伝子発現解析（研究責任者：吉原弘祐）」に参加され、検体の利活用に賛同いただける方。
③オプトアウトの概要	卵巣がん（高異型度漿液性がん）の中でがん細胞同士がどのように交流して自己を複製しているのかを明らかにすることで卵巣がんの本質にせまり、今後の診断や治療に役立てていきます。そのために、手術で摘出した卵巣がん組織をもちいて、mRNA やタンパク質の発現レベルを調べる研究になります。 過去の研究課題でご同意・ご提供いただいた検体（卵巣がん組織）について新たに細胞競合に関係する遺伝子・タンパク質を調べます。過去に同意をいただいた患者さんについて、新たに検体提供をお願いすることはありません。研究への参加に同意いただけない場合には、拒否していただくことが可能です。その場合になにか不利益が生じるようなことはありません。
④申請番号	G2025-0003
⑤研究の目的・意義	本研究では、卵巣がん（高異型度漿液性がん）の状況における細胞競合と適応度に焦点を当てています。本研究の目的は、高異型度漿液性卵巣がん患者における Flower アイソフォームの役割を、腫瘍および間質微小環境の観点から調査することです。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2030 年 03 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	新潟大学医歯学総合病院で手術を施行された卵巣がんの患者さんの診療録の情報とホルマリン固定パラフィン包埋標本の一部を利用します。利用させていただく情報については、氏名や診療番号を消して、解析データと一部の診療録の情報のみを利用します（匿名化）。処理した情報は、あとで遡って個人を特定することはできなくなります。実験は共同研究先の麻布大学で実施され、実験結果は、新潟大学・麻布大学・Virginia Commonwealth University で共有されます。また、得られたデータが医学の発展や人類に有益と考えられる場合には個人が特定できない形で学会発表や論文化する可能性があります。
⑧利用または提供する情報の項目	卵巣がん患者さんの診療録（病理組織診断、治療、経過など）
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で遺伝子解析情報や臨床情報を利

	用いたします。 新潟大学大学院医歯学総合研究科産婦人科 吉原弘祐 共同研究機関：麻布大学、Virginia Commonwealth University
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 家族性・遺伝性腫瘍学講座 須田 一暁
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学大学院医歯学総合研究科 産婦人科 氏名：吉原弘祐 Tel：025-227-2320 E-mail：yoshikou@med.niigata-u.ac.jp